

平成 26 年 5 月 8 日現在

機関番号：25403

研究種目：基盤研究(A)

研究期間：2009～2013

課題番号：21242002

研究課題名(和文)世界神話の二元構造の研究 - 善悪・生死・明暗

研究課題名(英文)Studies on the binary structure of the universal mythology

研究代表者

篠田 知和基 (Shinoda, Chiwaki)

広島市立大学・国際学部・研究員

研究者番号：00022260

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 35,800,000円、(間接経費) 10,740,000円

研究成果の概要(和文)：世界神話の基本的な二元構造を日本神話、ギリシャ神話、エジプト神話、インド・イラン神話、オセアニア神話、シベリア神話、アメリカ神話などにさぐった。明暗、水中の火、愛の二元性、罪と罰、異界と常世などのテーマでシンポジウムをおこない、それぞれの論文集を刊行した。生死、善悪の問題はそのつど検討された。最後は聖と穢れについて総括討論会をおこなった。その結果、世界神話は聖なるものを水中の火のような矛盾した概念のなかに追及するものであることがあきらかになった。

研究成果の概要(英文)：We studied on the binary structure of the universal mythology, for example, the Japanese mythology, the Greek mythology, the Egyptian mythology, the Indo-Iranian mythology, the Oceanian mythology, the Siberian mythology, the American mythology. We organized the symposium on the clair-obscure, the fire in the water, the binary structure of the love, sin and punishment, another world and paradise, and published the proceedings. At the last workshop, we debated on the notion of the holyness.

研究分野：人文社会

科研費の分科・細目：哲学・宗教学

キーワード：神話 宗教 二元性 民俗 善悪 生死 明暗

1. 研究開始当初の背景

研究の学術的背景

世界の神話を海洋神話、天空神話という視点から検討してきた経緯をふまえ、そこに入らない世界である地底や、観念的な世界を取り上げると、そこから、生と死、光と闇、という倫理的、形而上的問題がでてくるが、そのような見方は世界の神話学ではこころみられていなかった。世界神話の概観にあたって、海でも地上でも空でもないもの、それは物質的な地下世界というだけではなく、死後の世界であり、悪の問題をはらんだ世界である。それを追求してゆくことは、いままでの海や空といった目でみえる世界に展開する自然の事象の神話から、死や悪といった観念的な世界へはいることだが、そこから世界神話に共通する二元対立の構造があきらかになってくる。世界の神話学会ではキリスト教の唯一神体制からくる単一世界の観念が主流で、二元構造は取り上げられてこなかった。エリアードも天空神中心の神話構造を世界の神話に適用しようとした。デュメジルの三機能説も地上の世界を説明しても死の世界を説明するものではない。

しかし、善悪、天地、光と闇という対立する二つの原理の葛藤は汎神論の神話でも唯一神教でも共通して重要な問題として存在している。これは宗教学では基本的な問題だが、神話学では閑却されてきたものである。そもそも原初の混沌の海に宇宙卵がうかんでいたのが、二つに割れて天地ができたということがおおいが、そのあと、その天と地がまじわって日月や雨風を生んでゆくのであり、男女の結合による世界創造が展開する。そのさい、その男女の性も天と地というように対立的に認識されるのが普通で、創造原理を男女の結合に帰着させるとともに、そこに陰陽、高低などの観念も対応させるのである。キリスト教でもサ

タンや地獄の問題があり、至高神のいる世界でもかならずそれに対立するものがある。「悪」の問題である。

そしてギリシャでもメソポタミアでも、つねに神々は自然の威力にたいして闘っている。その自然と人間との闘争の根底には最初に天と地が生まれ、以後、その二つの力が対立葛藤しながら世界をつくっていったとする二元論がある。そしてまた、神話的想像の母胎である宗教観における生死、善悪の問題がある。神話の宗教学である。

世界がどうやってうまれたかという謎に対する答えとしての神話が、必然的に世界の終末はどのようなものであるのかという問題にも答えをせまられる。北欧のラグナレク神話や聖書の黙示録がそれだが、そこでも神々と自然の力との闘争が最後までつづいていたことが知られる。地底にとじこめていた「悪」がそのいましめをやぶって地上にでてくることは、人間の奥底にひそむ本能や悪が文化的な抑制意思をはねのけて表面に噴出することで、神話における「暴力」の問題にもそれは関係してくる。

2. 研究の目的

世界の神話はそもそも自然の猛威をあらわした巨人たちとの戦いであるギガントマキアや、ティアマトとマルドゥクの戦い、黄帝とシユウの戦いなどを語っており、その神々と自然との闘いが人間同士の戦いであるトロイ戦争やマハーバーラタの戦いにひきつがれてゆくのだが、それはすべて、天地が分かれたときからの二元論的対立構造の帰結であり、戦争や暴力こそ、神話の第一の主題だった。ここではまず『戦の神話』の視点から世界神話を再検討することをめざした。世界神話の始まりに記述される神々と自然との闘いを比較対照させ。

世界神話でも、ここではメソポタミア、ギリシャ、インド、中国、日本の大神話を中心に、シベリア、オセアニア、イスラ

ム、アメリカの神話を比較検討した。

3. 研究の方法

本研究では個々の研究者がそれぞれのフィールドで研究し、その成果を年二回のシンポジウムにもちより、各年ごとに総括をしながら5年間の研究を推進した。夏は国際シンポジウムとし、冬は国内での予備的なシンポジウムとした。メンバーの個別調査はその二回のシンポジウムおよび共同研究書に集約する。この毎年のシンポジウムには国内からは20名前後の報告と、数名のコメンテーターを招いてきた。木村がアメリカの南北の先住民を、後藤がオセアニアを、荻原がシベリア、岡本がイスラム世界、小南が漢民族、廣田が中国少数民族、依田が朝鮮、山田が台湾、丸山が沖縄、中根が日本の中古、吉田、松村が理論、などを分担した。

シンポジウムは「光と闇」「他界と地獄」「善と悪」などのテーマで毎年の研究とシンポジウムを計画した。このシンポジウムのプロシーディングは原稿集として事前に印刷して会場で配布したが、議論をふまえて、書き直したものをその後の雑誌の特集や、論文集などに発表した。

4. 研究成果

世界神話の二元構造の研究として、明暗、水と火、愛と反愛、罪と罰、などを検討し、世界中の神話にその種の二元構造がみられることを確認した。最終年度には異界と常世として、死後世界の二重性、二元性をあきらかにした。これは天界と地獄の二元性ではなく、日本的な観念としての常世が、異界とことなるところとして世界的に認識される点に焦点をあてて、本質的二元性を追求したものである。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 1 件)

立川武蔵 仏塔をめぐる 神話・象徴・図像 3、2013、pp169-192

〔学会発表〕(計 3 件)

篠田知和基

文明の始まりの神話、比較神話学シンポジウム、中央大学、2013
Shinoda, Chiwaki, l'Ile de l'eternel printemps, la Rencontre d'Aubrac, 2013
篠田知和基 神話のシルクロード、比較神話学シンポジウム、奈良新公会堂、2013

〔図書〕(計 1 件)

篠田知和基、小南一郎、鈴木正崇、丸山顕徳、ほか、「神話のシルクロード」楽浪書院2014 pp477

〔産業財産権〕

出願状況(計 0 件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

出願年月日:

国内外の別:

取得状況(計 0 件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

取得年月日:

国内外の別:

〔その他〕

ホームページ等

なし

6. 研究組織

(1) 研究代表者

篠田知和基 (SHINODA, Chiwaki)

研究者番号: 22260

(2) 研究分担者

()

研究者番号:

(3) 連携研究者

吉田敦彦 (YOSHIDA Atsuhiko) 学習院大学名誉教授

研究者番号: 00022260

丸山顕徳 (MARUYAMA, Akinori) 花園大学文学部教授 10239155

松村一男 (MATSUMURA Kazuo) 和光大学表現学部教授 7013952

中根千絵 (NAKANE Chie) 愛知県立大学文学部准教授 80326131

鈴木正崇 (SUZUKI Masataka)慶應義塾大
学文学部教授 1 0 1 2 6 2 7 9
不破有理 (FUWA Yuri)慶應義塾大学経済
学部教授 6 0 1 5 6 9 8 2
服部等作 (HATTORI Tosaku)広島市立大学
名誉教授 5 0 2 1 8 5 0 9
山田仁史(YAMAD, HITOSHI) 東北大学文学
部准教授 90422071
立川武蔵 (TACHIKAWA Musashi)国立民俗
博物館名誉教授 0 0 0 2 2 3 6 9
後藤敏文 (GOTO Toshifumi)東北大学名誉
教授 40215497
荻原真子 (OGIHARA Shinko)千葉大学名誉
教授 0 0 1 2 9 0 7 4
木村武史 (KIMURA Takeshi)筑波大学現代
社会学系 准教授 0 0 2 9 4 6 1 1
後藤明 (GOTO Akira)南山大学人文学部教
授
広田律子(HIROTA Ritsuko)神奈川大学経済
縛部教授 70260990
近藤久美子 (KONDO Kumiko)大阪大学外国
語学部教授90273739
竹原 新 (TAKEHARA Shin)大阪大学外国語
学部准教授20324874
坂井 弘紀 (SAKAI Hiroki)和光大学表現
学部准教授 2 0 3 6 6 9 5 9
諏訪春雄(SUWA Haruo) 学習院大学名誉教
授 6 0 0 8 2 9 2 1
小松和彦 (KOMATSU Kazuhiko)日本文化研
究センター教授 9 0 1 1 1 7 8 1
鷹巣純 (TAKASU Jun) 愛知教育大学教育
学部准教授 0 0 2 5 2 2 0 5
栗原成郎 (KURIHARA Shigeo)東京大学名
誉教授70012359
依田千百子 (YODA Chihoko)撰南大外国語
学部教授 4 3 2 3 2 0 1 4